

輪中っ子

長島中学校1年生 No.18 2017. 6. 19

1年生の1学期も終盤に向かいます！

～4月からの生活について～

中学生になって3ヶ月が経ちました。明治村校外学習や普通の授業、部活動への取り組みを通じて成長していく姿が見られ、とても頼もしく感じています。中でも校外学習や校歌コンクールで見た室長会メンバーの姿や、それをサポートしていこうというみんなの姿にとっても感心しました。学習面においても4月当初から「中学生になったんだ」という自覚が見られます。ただ、最近になって、授業に取り組む姿勢や提出物などに自覚の足りない生徒の姿が見られるようになり、心配しています。早いもので、来週には期末テストがあり、すぐ後に三者懇談会があってそこで連絡票を渡します。中間テストの反省を生かし、しっかりとした気持ちで期末テストに臨んでほしいと思います。また、期末テストが終わっても、充実した生活を送れるようにしてください。保護者の皆様においても、お子様たちが自立した生活を送れるよう、支援・援助をお願いします。

☆これからも継続して欲しい点 〈決められたことを守ろうとする姿勢〉

学校で決められているルールを守ろうとする姿勢は、多くの生徒に感じることができません。先日の明治村校外学習にもその意識が見られました。また、この傾向は授業など他でも表れています。このようなことは当たり前のことのように思われますが、「守れない」「大切にしない」ということは生活の乱れにつながり、学習や部活動などに大きく影響してきます。決められたことを守ろうとする意識は「規則正しい生活」の支えになるはずです。学習も部活動も、この「規則正しい生活」の上に成り立っているものです。だからこそ、この意識を大切に中学学校生活を送ってほしいと思います。

★これから成長が必要な点

〈物事を自分の力で考え、判断し、行動に移す＝自立〉

この部分については、まだまだ不足している生徒がいると感じます。自分から行動に移せない大きな原因の一つは、話を聞こうとしない習慣にあると思います。生徒の生活は新しいことの連続です。授業などでは毎時間、新たな知識を吸収していかなければいけません。そうなるはずは話を聞くことから始まります。しかし、「話を聞く」姿勢に不十分さ

を感じる場合があります。基本的なことですが、まずは人の話をしっかり聞くことが大切です。そしてその上で、聞いたことを自分の頭で考え、物事を判断していくことが大切です。これからは、このようなことに十分気をつけて生活して欲しいと思います。

～学習面では～

◎国語

全体的には落ち着きを持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。国語は「知識」より、自分で考えたり感じたりすることが求められるため、「授業にしっかり参加する」というテーマを掲げている。おかげで、授業での教師の話や他の生徒の意見に耳を傾け、うなずいたりといった反応を示す生徒が増えてきた。ただ、授業中にまだ「自分のこととして話を聞く」ことができない生徒、「黒板を写すだけ」、「心ここにあらずといった様子でボーッとしている」などの生徒もおり、しっかり聞き、考える生徒との力の差が開いていっているように思われる。また、全体としては宿題や提出物に対する意識が低く、なかなか出せない人も多い。授業では「書く」ことにも力を入れている。「書く」ことのきまりや、「書く」ときの注意点をきちんと理解し、相手に理解しやすいように書くということが中心だが、「書く」ことにアレルギーを持っている生徒も多く、これからの努力が期待される。



宿題

毎週1回、漢字の小テスト(『単元別漢字』)をおこなっていて、その範囲の漢字を覚えるというのがおもな宿題。各自で『語句ノート』を作り、教材が変わるたびに難解語句の意味調べをさせている。国語の授業についてはあまり宿題は必要ないので、教科書以外の文章を読んだり、その問題を解いたりということを推奨している。

◎数学

全体的に落ち着いて学習に取り組んでいる。授業では、最初に説明を聞いたり考え方を交流したりして新しいことを学び、後半で演習する時間を取っている。また、その日に学習したことを中心に宿題を出し、定着できるようにしている。毎回の宿題をきちんと取り組んでいる生徒が多いが、課題が見られる生徒もいる。ワークなどの提出物も期限を守って出すという意識が低い生徒もいる。

数学が苦手な生徒の課題としては、小学校の算数でつまづきがあること、全体での説明がしっかり聞けないこと、授業ではできていても自分に必要な量の家庭学習ができず定着していかないことが挙げられる。積み重ねの教科のため、できる限り復習を取り入れながら授業を進めるとともに、教師の説明だけでなく生徒の考えを引き出すこと、課題によってはグループ学習を取り入れること、基礎的な内容が定着するように小テストをおこなう

ことなどを、今後も意識的にこなしていきたい。

宿題 毎回の授業で、教科書の問題、ワークの問題、確認プリントなどの宿題を出している。また、小テストの範囲を勉強してくることも宿題にしている。

◎理科

全体的に落ち着いて授業に取り組んでいる。そして、理科の授業に興味・関心を持って臨んでいる生徒も多い。ただ、小学校の経験からか、理科という教科に対して苦手意識を持っている生徒も少なからずいる。生徒全員がさらに意欲的に取り組めるように、生徒の経験と結びつけてグループで考える授業、実験や観察などの体験を多く取り入れた授業を展開していきたい。また、授業でおこなった内容を家庭学習ですぐに復習できるように、こまめに宿題を出すように心がけている。授業でおこなった内容を日々復習することにより、知識・理解を定着させ、生徒1人ひとりが、わかる・できるという感覚を持てるようにしていきたい。



宿題 『理科の完全学習』という問題集2ページ分をノートにやるという宿題を、週2回のペースで出している。わからない問題は答をすぐに見ず、教科書で調べたり、できるだけ自分の力で進めるようにしている。

◎社会

意欲的に授業に参加している生徒が多く、落ち着いた雰囲気での授業ができている。しかし、入学当初の聞き取りで、社会科に対して苦手意識を持っている生徒も少なくなく、理由を聞いてみると「暗記が苦手だから…」という返答が多かったように感じている。授業では、社会科は「暗記教科ではない」、「考える力をつけよう」というテーマを掲げて授業を展開し、図や地図、グラフなどの資料から様々な情報を読み取る力をつけたいと思っている。授業中に「黒板を写すこと」や「先生の話がボーッと聞く」などが「授業を受けている」と考えている生徒もいるように思う。しかし、自分から積極的にならないと、本当の意味で「授業を受けている」ことにはならない。そういった意味でも、「楽しい社会の授業」、「考えることが楽しくなる社会科」になるよう、グループ活動や全員が自分の考えを発表する機会を設けている。

家庭で学習する習慣を身につけるため、毎時間宿題を出している。宿題を提出しない人が固定されてきており、今後が心配な面もあるが、これからの努力に期待したい。

宿題 **五行学習**(毎時間提出)

自主学習用のノートを1冊用意し、ノートに5行以上自主学習をする。社会科に必要な内容であれば、どのようなものでもOK。例えば、授業の振り返りをする、地図を書く、教科書を写す、ワークを行う、漢字の練習をする、グラフを書く、など。

地理の学習【ワーク】(定期的に提出)

1～2週間に1度、授業で進んだ範囲をやって提出。各クラスの進捗状況に応じて、提出日と提出範囲が記載されたプリントを配布している。

地理の完全学習【ワーク】(定期テストのときに提出)

授業の進捗に合わせて、自分で計画を立てて、進める。

◎英語

全体として落ち着いた雰囲気に取り組んでいる。どの生徒も音読やペアワーク、グループワークに意欲的に取り組んでいる。授業内で自分の意見を発表する場ではたくさん手が挙がり、よい発言や質問が多い。大半の生徒が宿題や小テストの勉強をきちんとやってくるが、宿題をする習慣がついてない生徒やテスト勉強をしないまま取り組んでいる生徒もいる。授業内や宿題で、習ったことを書く練習をする機会を取り入れてはいるが、確実な定着のために家庭でさらに自主的に復習することを呼びかけていきたい。小学校にはない教科である英語に苦手意識を持たせないように、生徒にとってわかりやすく楽しい授業を作っていきたい。英語は積み重ねの教科であるため、学習したことを何度もくり返し学んで、単語や文法の定着をさせたい。また、宿題を継続的に出し、こまめにチェックしていきたい。

宿題 教科書の単語調べ、本文写しを宿題にしている。また、單元ごとに教科書本文の重要単語、表現を扱った小テストをおこなっている。



どの教科にも共通することは、落ち着いた状態で授業がおこなわれていることです。小学校のときからの学習への姿勢がしっかりしていたと思われます。ただ、それほど多くはありませんが、「話が聞けない生徒」や「必要性を考えて学習しない生徒」がまだまだいます。これによって効率が上がらず、学力が定着しないのがとても残念です。他にも家庭学習など学力を定着させる努力が足りないということもあるようです。

長島中学校では数年前から家庭学習定着の取り組みをしています。学力を定着させるためには、学校での授業以外にも家庭学習の習慣化がとても重要です。保護者の方から、家庭学習を充実させるために、宿題を出してほしいという声も聞かれます。宿題をやるのも確かに家庭学習といえるかもしれませんが、しかし、中学校の学習は、「自分が必要なことを必要なだけやる」というのが基本です。人によって必要な学習の内容や量は違います。誰もが同じことを同じ量だけやるという宿題は最低限にして、自分に必要なことを必要なだけ学習することが大切だと考えています。「そうはいつでも、勉強のやり方がわからない」という声もありますが、家庭学習のやり方は小学校のときの宿題で学んできているはずで、自分に合った効率的な学習法というものもそれぞれ違い、自分でやって身につける他はありません。ぜひ、自分の力になる学習を、自分の努力でおこなってほしいと思います。